

よかつたか？

どうすれば

1月18日(日)

映画上映会

+

アフタートークセッション

詳細

会場：中野区役所1階 屋内イベントスペース「ナカノバ」
住所：中野区中野4-11-19
対象：区内在住の精神障害をお持ちの当事者と
その家族、支援者、関心のある方

参加費：無料※事前申込制（会場に空きがある場合は当日参加可能）

アフタートークセッションゲスト

監督	藤野 知明 氏
ゆうりんクリニック	岩波 孝穂 氏
NPO法人リトルポケット 代表	松田 和也 氏
せせらぎきょうだいボランティア	飯塚 曜子 氏
中野区障害福祉サービス担当課長	河村 陽子 氏

タイムスケジュール

13:00 受付開始、13:30 開始（上映 101 分）
休憩後、アフタートークセッション 60 分（16:35 終了）

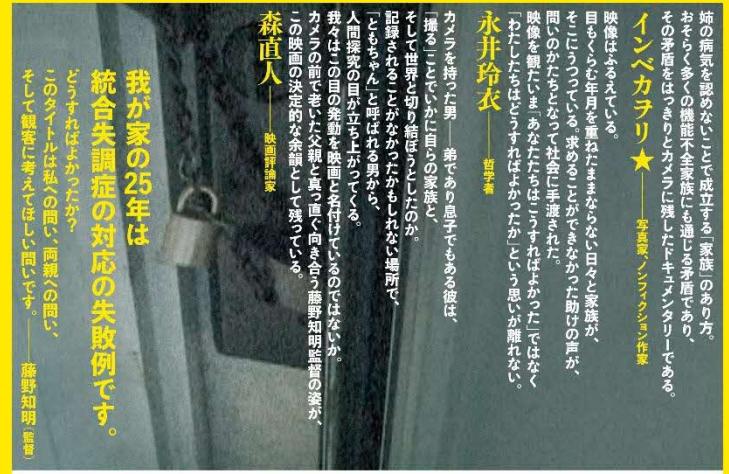
申込方法: Peatix より受付

期間: 12/6(土)～1/16(金)

(<https://peatix.com/event/4587532>)



先着
100
名



家族という他者との20年にわたる対話の記録

面倒見がよく、絵がうまくて優秀な8歳ちがいの姉。両親の影響から医師を志し、医学部に進学した彼女がある日突然、事実とは思えないことを叫び出した。統合失調症が疑われたが、医師で研究者でもある父・母はそれを認めず、精神科の受診から姉を遠ざけた。その判断に疑問を感じた弟の藤野知明（監督）は、両親に説得を試みるも解決には至らず、わだかまりを抱えながら実家を離れた。

このままでは何も残らない——姉が発症したと思われる日から18年後、映像制作を学んだ藤野は県省ごとに家族の姿を記録はじめる。一家そろっての外出や食卓の風景にカメラを向けながら両親の話を傾け、姉に声をかけつづけるが、状況はますます悪化。両親は玄関に鎖と南京錠をかけて姉を閉じ込めるようになり……。

20年にわたってカメラを通して家族との対話を重ね、社会から隔たれた家の内と姉の姿を記録した本作。「どうすればよかったです？」正解のない問いはスクリーンを越え、私たちの奥底に容赦なく響きつづける。

分かりあえなさとともに生きる、
すべての人へ向けた
破格のドキュメンタリー。



1月25日(日)

映画上映会意見交換会

時間：13:30～15:00

会場：中野区地域生活支援センターせせらぎ

住所：中野区中野5-68-7 中野区社会福祉会館6階

1/18 の映画上映会+アフタートークセッションのイベントを経て、感じたこと等を参加者の皆さんまでワールドカフェ形式で意見交換する会です。お気軽にご参加ください！

(<https://forms.gle/D9N4sTbw4dGwbU4f6>)

申込はこちらから
(12/6～1/24まで)



主催：中野区地域生活支援センターせせらぎ

後援：中野区障害福祉課

お問い合わせ：03-3387-1326(月、祝定休)

(C)2024 動画工房ぞうしま